

二人のエッセイも楽しめる 乳児向けのうた遊び集



0・1・2歳児
とんちゃん&しまちゃんの
歌ってこっつんこ

湯浅とんぼ・島本一男 著

AB判・並製・52ページ
本体2200円＋税
教育技術 MOOK / 0・1・2歳児の保育
小学館
TEL 03-5281-1771
<http://www.shogakukan.co.jp/>

このムックは、隔月刊誌『0・1・2歳児の保育』（小学館）に二〇〇六年四月・五月号〜〇八年一・三月号に掲載された「とんちゃん&しまちゃんの歌ってこっつんこ！」より厳選し、再構成したものに新曲を加えた楽しい「遊びうた」の本です。〇一年に好評出版された『とんちゃん&しまちゃんの歌で遊んじゃおう！』（小学館）の第二弾です。

まず、表紙を飾る二人のオジサン、無邪気な笑顔といったらどうでしょう。「とんちゃん」こと湯浅とんぼ氏は、子どものうたをつくる名人。三十年ほど前から仲間たちと研究会活動が続けながら、オリジナルの子どものうたをつくりはじめ、今や手遊びうたの第一人者です。本書では三曲ほど作曲もしていますが、残りの九つのうたの作詞をしています。

「しまちゃん」こと島本一男氏は、一般企業のサラリーマンから保育士に転職。現在、保育園園長を務めています。とにかく人好き、子ども好き。作曲では、自由でのびやかなメロディーに人柄があらわれます。

本書は、実際の親子が遊んでいる写真と楽譜を中心に、イラストで遊び方を紹介。CD（十二曲）＋歌詞カード付きなので、聞きながら、読みながら、遊ぶことができます。

ところどころに出てくる「ひとこと」も、お見逃しなく。「こっつんこ」では、「常識ではありえないことも、子どもはいつばい思いつきます。それと一緒に笑うことができれば、保育はもっと楽しくなります。さあ、みんなでナンセンスを楽しもう！」とあります。「風といっしょに」では、「風に逆らって生きようとしてはいけません。あつちへふらふら、こつちへふらふら…。『人生は風まかせ』です」と、ほつとすること。

一緒に歌う、一緒に踊る、一緒に笑う、大声を出す、床をころがる、鳥になる、ヘビになる、ゾウになる…。子どものためにではなく、自分のためにやってみる。この本は、保育者はもちろん、お母さん、お父さんまで元気にしてくれる本だと思います。

ぜひ、最終ページ「コーヒーブレイクタイム三人でよ・も・や・ま・話」

も読んでみてください。

そもそもこの本が生まれたきっかけは、島本氏の園で毎月、今も聞かれている「歌遊びコンサート」でした。なかなか落ち着かない園をなんとかしたいと思っていた島本氏が、「子どもたちとつながるためには、自分の好きなことをして、楽しさを伝えることが大事だと思って」はじめたとあります。もちろん、湯浅氏の「応援するから」のひとことが後押しになりました。

ゼロ〜五歳児まで一緒のコンサートでしたが、時間を変えたり、五歳児だけにしたり、マジックを加えたり…。子どもたちを楽しませ、自分たちもともに楽しむための創意工夫やチャレンジの連続だったことがわかります。全編、満面の笑みの二人ですが、「笑顔の裏に試行錯誤と努力あり」なのです。友人でもある二人です。今度会ったら、撮影や衣装など制作秘話(?)でも聞かせてもらいましょう。CDを聞いているだけでも体が動き出しそうな本だから、同時に第三弾、第四弾発行の要望も伝えるつもりです。

(川副孝夫／千葉・風の谷保育園園長)